

開く浮きの商品化支援

門脇アドバイザーによる支援

自身の経験から考案された浮きについて、先行技術調査の相談に来訪されたのをきっかけに支援を開始

産業財産権取得に向けたサポート

- 産業財産権制度および権利の活用について説明
- 特許電子図書館(IPDL)を利用した先行技術調査方法の支援
- 「浮き」に関する先行技術文献の解析等の支援
- 実用新案の出願手続きおよび出願書類作成の支援

古家家具店

趣味の釣りで、あるとき生餌が籠から出ず、釣るタイミングを逃してしまった自由に生餌を放流できるような浮きを考案
しかも木材で浮きを作れば、家具の端材が活用でき、一挙両得である

**新商品を知財で
保護したい！
実用新案登録出願に
挑戦したい**

特許情報活用による成果

先行技術調査から出願書類の作成まで、**すべて自社で行い**

- 実用新案登録1件
実用新案登録第 3126727 号

- 知財を積極的に活用し、実用新案登録した商品であることをPR
- 商標登録出願も検討中



この支援によって開発・販売された商品

商品名「マンパン浮き」

マンパン浮きの中に生餌を入れてキャストし、着水後に道糸を引いて、入水する水の力を利用して開き、生餌を自由に泳がせて魚を釣ることができます。

支援先企業の概要

会社名 古家家具店 代表 古家 万範
住所 島根県雲南市掛合町 設立 1947年

門脇 みどり(島根県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

「開く浮き」を考案したきっかけや、苦心した点などをお聞きして、その熱意あふれる説明に是非新商品を完成させていただき、販売できるようにとの思いで支援させていただきました。

出願明細書を作成する段階では、代替案の検討や実地試験を繰り返し行い、さらにより良い内容にするために何度も文章を吟味されるなど、明細書作成及び商品のレベルアップに取り組まれました。

途中健康を害された時期もあったとのことですが、見事にご自身の力で実用新案登録出願を実現し、登録後も更に使いやすい浮きを目指して改良を検討されています。



平成 22 年 12 月現在